

研究課題名	当院での脳死下臓器提供への取り組みと成果
実施責任者	所属・職名： 救急科 医長
	氏名： 萩原 康友
研究の概要	<p>臓器提供は終末期医療の選択肢の一つであり、提供を希望する患者の「臓器を提供する権利」を尊重し、また臓器移植による治療を必要とする患者を救命するため、これに関する取り組みは重要である。しかし本邦での臓器提供数は少なく、十分な臓器を確保できているとはいえない。</p> <p>当院はこれまで（2025年2月現在まで）に15例の脳死下臓器提供を実施しており、全国的にも経験の豊富な施設といえる。当研究（調査）の目的は、当院で経験した脳死下臓器提供症例、および適切な臓器提供を実施するために実施した当院での取り組みについて報告することによって、1) 脳死下臓器提供事例の実態を把握すること、2) 臓器提供症例の増加に繋がる取り組みを共有し、より良い方策を模索することである。これより、臓器提供の経験が豊富な当施設の経験を共有し、提供症例数の増加に繋げる意義がある。</p>
対象となる個人情報	当院で脳死下臓器提供を行った患者様の診療録から下記の情報 年齢、性別、原疾患名、入院診療科、オプション提示（臓器提供についての情報提供）、摘出臓器
実施の期間	西暦 2003年 10月 1日より
	西暦 2025年 3月 31日まで
研究対象	当院で脳死下臓器提供を行った患者様